

ごあいさつ（「美術館・博物館情報サイトアートアジェンダ」設立趣旨）

日本には、全国各地に素晴らしい美術館が沢山あります。

「美術館・博物館情報サイトアートアジェンダ」は、それら各美術館の特色、企画展・常設展の情報、各美術館の特色を成すコレクションなどを幅広くご紹介していく、美術館情報サイトです。

《WEB が果たせる可能性を求めて》

アートアジェンダを立ち上げたメンバーは、とくに美術などの専門家というわけではありません。美術館・博物館の一利用者・一ファンとして、美術館・博物館が人々にもたらしてくれるものの価値やその大切さ考え、私共が専門とする WEB の可能性を追求しながら、美術館・博物館から享受できることの価値を深めたり、広げたり、広めたりする役割を行えないかと考えてまいりました。

インターネットが日常的に人々の暮らしの中で必要不可欠となった現在、ひとつの WEB 媒体が果たせる役割の試みとして、アートアジェンダは、美術館の在り方をひとつの文化として捉え、さまざまな角度から光をあててみて、照らし出されるものを、できるだけ多面的に伝えられるよう、目指してまいりたいと考えております。

美術館・博物館で出会うことのできる作品には、ひとつひとつ、そこで出会う必然性があり、その作品がなぜその場にあり、両隣りにはどんな作品が展示されていて、どのような文脈の中で出会うことができるのか、それによって、作品ひとつひとつの、見る者への語り掛け方が異なってくるのではないのでしょうか。美術館・博物館は、そういった、作品と見る者との必然的な出会いを、対話の場を、文脈を、作り上げようとしている場所でもあります。

アートアジェンダでは、各展覧会情報の紹介ページに出展作品画像をできる限り、1~2 点だけではなく、複数点ご紹介させていただくことでその文脈の断片を伝えられるよう、また、展覧会の趣旨など開催者の思いを丁寧に伝えられる情報発信で、一人でも多くの方が、作品との出会い・対話の場に足を運ぶきっかけを作りだしたい、と考えております。

《美術館・博物館の個性を形作るもの》

また、美術館・博物館という場所は、単に展覧会を企画して開催しているだけの場所ではなく、それぞれの美術館・博物館を特徴づける要素が、展覧会事業以外にも様々にあります。そのひとつは、コレクション(所蔵作品)です。各美術館・博物館で、どのような作品を所蔵しているか、どのようなジャンル、年代、国内外、収蔵点数、今後のコレクションの方向性など、そのコレクションの内容から美術館・博物館の個性を知ることができます。

コレクションを持たない美術館もあります。コンサートホールや劇場などを持つ複合施設のような中にある美術館や、あるいは公募展などのコンクールを開催する場所として特化させた美術館などでは、コレクションは持たず、企画展とその他の役割を担う場合として存在します。

また、展示作品や作家についての理解を深めるためのトーク会や講演会の企画なども活動も多く美術館・博物館によってなされていますが、それらソフトの面だけではなく、ハード=建築においても、それぞれの美術館・博物館が、人々が集える場所として公共性の高い場所にありながら、個性を光らせて、内包するものを外観からも感じとれるように試みられた、素晴らしい建築が多くあります。

《「美術館・博物館文化」にアプローチ》

アートアジェンダは、そういった、「美術館・博物館文化」ともいえる各美術館・博物館の表現の総体にアプローチしながら、その中で、芸術・美術・アートに出会う機会をより多くの人々にもたらすことのできる媒体になることを目指しております。

美術館・博物館が、人々にもたらしてくれるものは、すぐに目に見えたり、形があるものではありません。けれど、美術館・博物館という場所で作品に出会い、それらの作品が語りかけてくることに耳を傾け、対話することは、人間について、社会について、自分自身について、あるいは自然について、世界のあり方について、深く考えることにつながり、また心の糧を静かに与え続けてくれることにつながる大切な経験といえるのではないのでしょうか。

そのような機会に芽生えた思考や、心が感受したものが、われわれ自身にもたらしてくれるものの大きさは、計り知れません。わたしたちは、美術館・博物館の存在が、人間社会において、より良く、より滋味深く、心豊かに生きていくために、貴重な体験を与えてくれる場所だと信じています。そのために WEB が果たせる役割・可能性を追求しながら、アートアジェンダを運営してまいりたいと思っております。

《最後に・・・》

ぜひ、皆さまには楽しみながらご利用いただき、おひとりでも多くの方が美術館・博物館へ足を運ぶ機会がより増えますよう、願っております。また、お住まいの地域だけでなく全国の美術館・博物館の存在やそれらの場所で開催される、非常に多岐に渡ったテーマで、様々な趣向がこらされた展覧会などについても、知っていただける機会となれば幸いです。